「新横浜線」開業、神奈川―東京つなぐ　沿線開発が始動

#地域総合 #神奈川 #東京

2023/3/18 11:30 [有料会員限定]

新横浜線の開業で神奈川県央部と東京都心のアクセスが向上する（18日、横浜市）

相模鉄道と東急電鉄が相互に直通運転する「新横浜線」が18日に開業した。全路線が神奈川県内にある相鉄が東急とつながり、東京や埼玉を含む3都県にまたがる14路線・総延長250キロメートルの広域ネットワークが誕生した。神奈川県央部と東京都心のアクセスが向上するとともに、相鉄は沿線の開発促進や住民増加を期待する。

新横浜線は東急の日吉駅から相鉄の西谷駅までの横浜市内5駅を結ぶ。日吉、新綱島、新横浜、羽沢横浜国大の4駅間の約10キロメートルを新設した。相鉄本線から東急目黒線、東京メトロ南北線を経由し、埼玉高速鉄道埼玉スタジアム線の浦和美園駅（さいたま市）まで直通する。相鉄は都営三田線や東武東上線などとも直通する。

直通運転は一部の列車を除いて相鉄本線から東急目黒線方面と、相鉄いずみ野線から東急東横線方面で実施する。平日のダイヤは相鉄本線からが午前7〜9時に1時間あたり4本など1日54本、相鉄いずみ野線からは同じく6本など1日46本となる。

乗り換えの手間がなくなり、神奈川県央部から東京都心への所要時間が短くなる。相鉄いずみ野線の湘南台駅（神奈川県藤沢市）から東京メトロ副都心線の新宿三丁目駅（東京・新宿）までは最速59分、相鉄本線の海老名駅（神奈川県海老名市）から都営三田線の大手町駅（東京・千代田）までは同70分となる。

新横浜線の新横浜駅は新駅で、相鉄と東急にとって初めての東海道新幹線の乗換駅となる。JR東海は新横浜線の開業にあわせてダイヤを改正し、新横浜駅始発の「のぞみ」を新設。土曜日などに午前6時3分発の新大阪駅行きを運行する。相鉄沿線などからは品川駅経由よりも早く名古屋・大阪方面へ到着できる。

相鉄は大手私鉄のなかで営業路線が短く、2019年のJR直通線の開業まで東京都心への乗り入れがなかった。それだけに都心の主要駅に直通運転でつながる新横浜線の開業は、住民を沿線に呼び込む「切り札」として期待される。

沿線では再開発計画が動きだしている。横浜市は2月、新横浜駅南側の「篠原口」のまちづくり計画案を公表した。道路を整備するとともに、地権者らによる再開発準備組合が中心となって約3.5ヘクタールのエリアに高層のオフィス・商業ビルや集合住宅などを建設する。

相鉄いずみ野線ゆめが丘駅前では大規模再開発工事が進む（横浜市）

新綱島駅周辺でも駅直結の複合施設「ドレッセタワー新綱島」などの整備が進み、マンション約250戸は完売した。東急東横線の綱島駅東口駅前の再開発も横浜市による都市計画が決まり、共同住宅や商業エリアなどで構成する複合施設が建設される。

相鉄いずみ野線のゆめが丘駅（横浜市）の駅前では、相鉄グループが24年夏に大型商業施設をオープンする。駅前の約24ヘクタールで再開発が進み、集合住宅や地域の中核となる病院の整備も予定される。（仲村宗則）

【関連記事】

・相鉄・東急「新横浜線」開業　神奈川から東京行きやすく

・横浜駅を目指さない新横浜線　相鉄、都心直通に活路

・JR東海、新横浜発「のぞみ」新設　23年春ダイヤ改正

【3月18日の鉄道関連ニュース】

・首都圏鉄道7社、運賃一斉値上げ　初乗り10円程度

・京葉線「幕張豊砂駅」開業　JR東、千葉に25年ぶり新駅

・JR大阪駅の新地下ホーム開業　「うめきた2期」の玄関に